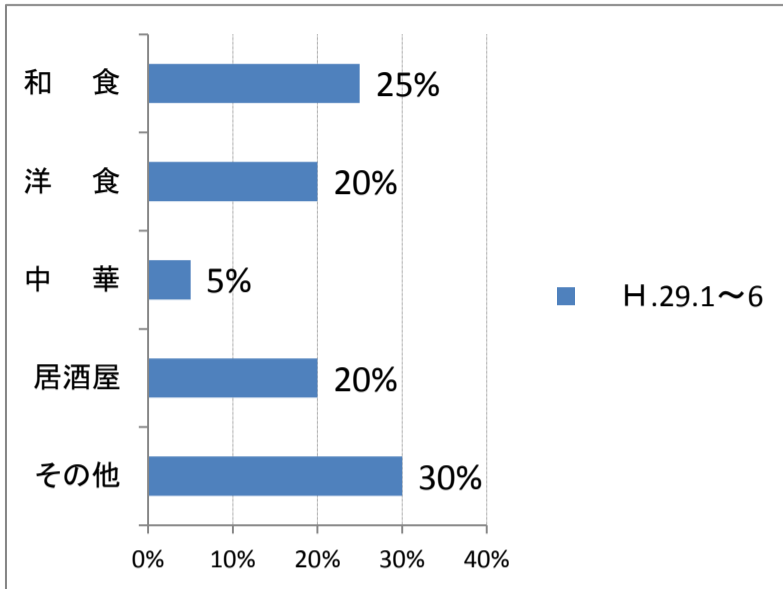


【平成29年7月実施 景況調査アンケート集計結果】

◆◆ 飲食業 ◆◆

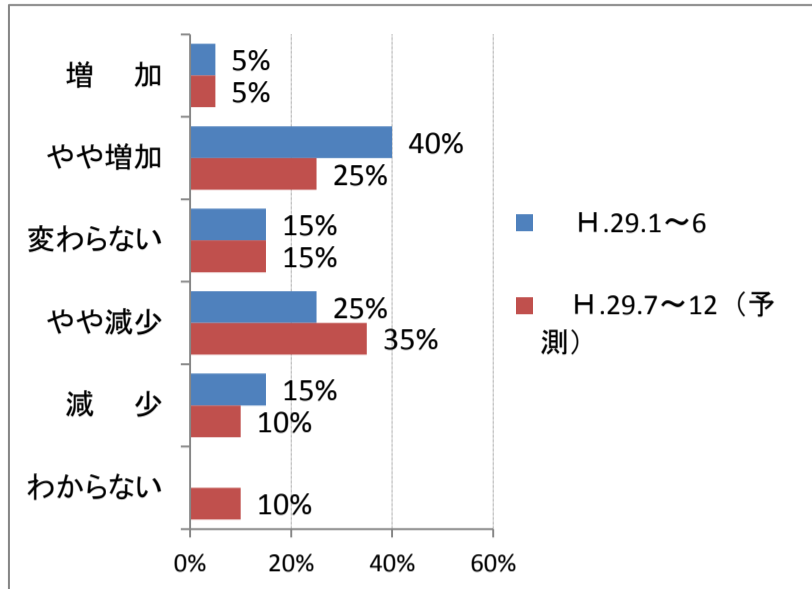
《 集計結果 》

【 分類別 】



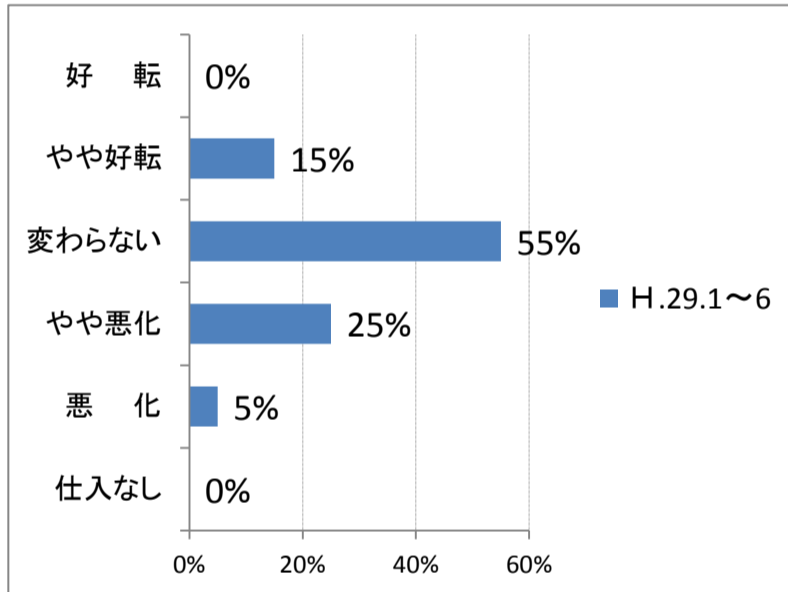
和食25%、洋食20%、中華5%、居酒屋20%、その他30%（喫茶店・スナック等）

【 売上 】



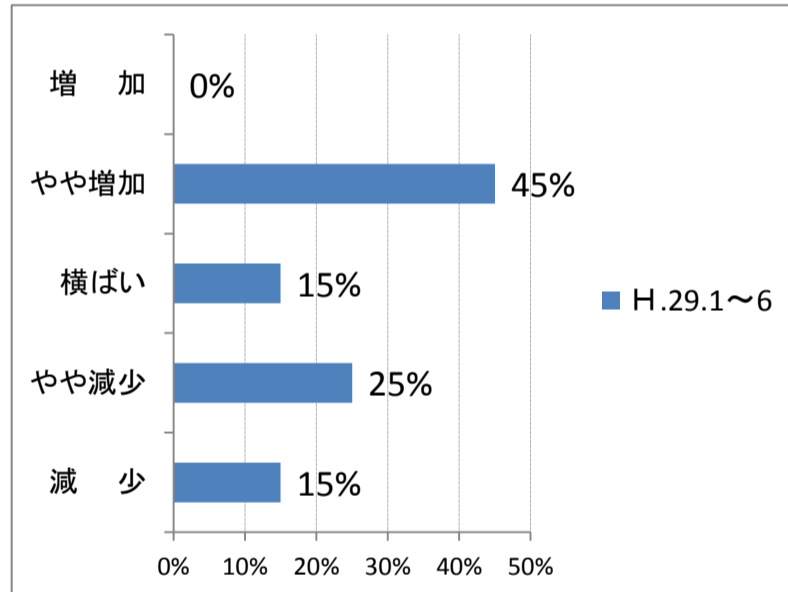
増加とやや増加が45%、減少とやや減少が40%という結果であった。

【 仕入 】



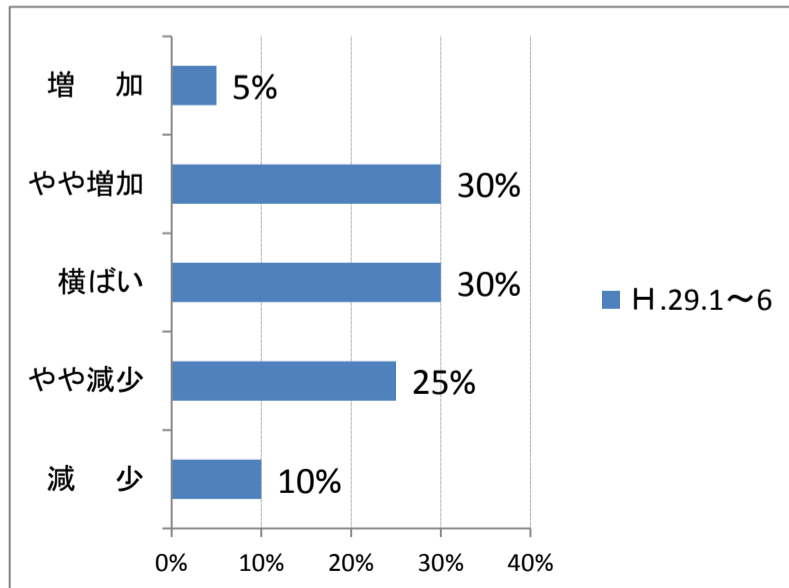
悪化とやや悪化が30%、やや好転が15%という結果であった。55%の事業所が変わらないと回答している。

【 利益 】



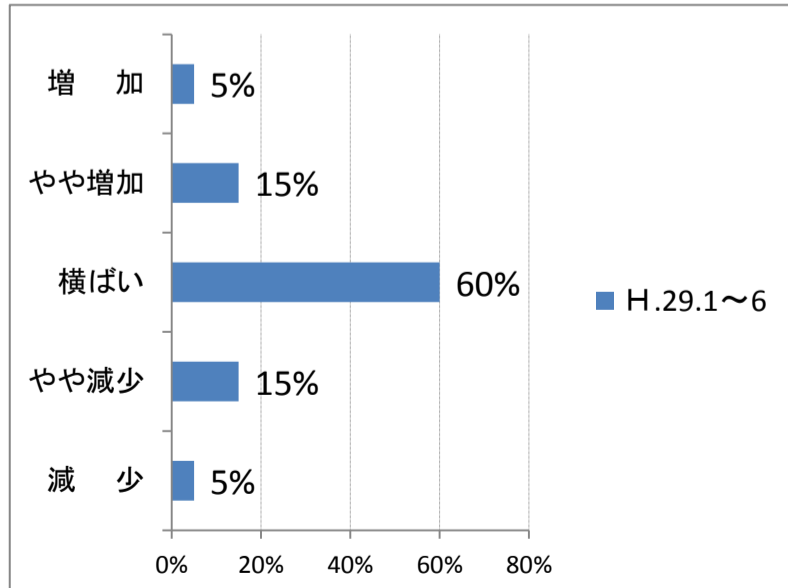
やや増加が45%、減少とやや減少が40%という結果であった。

【 客数 】



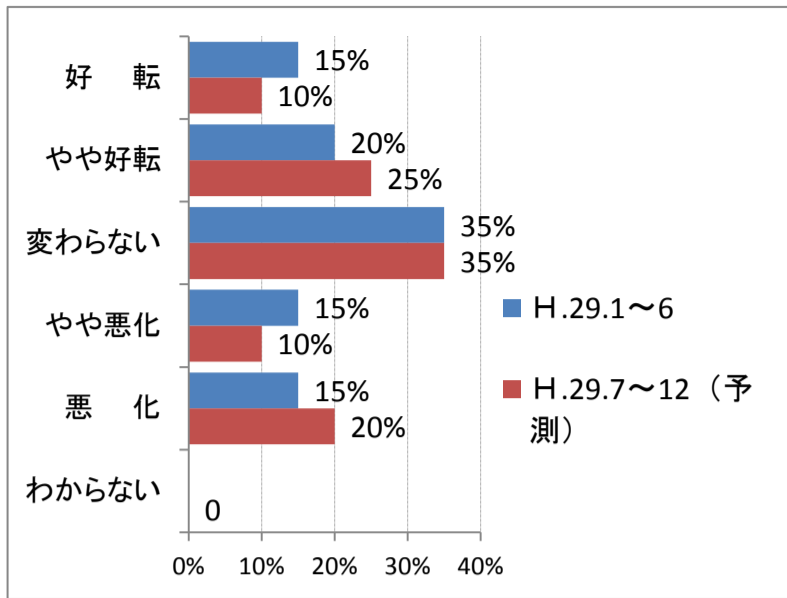
増加とやや増加が35%、減少とやや減少が35%という結果であった。30%の事業所が横ばいと回答している。

【 客単価 】



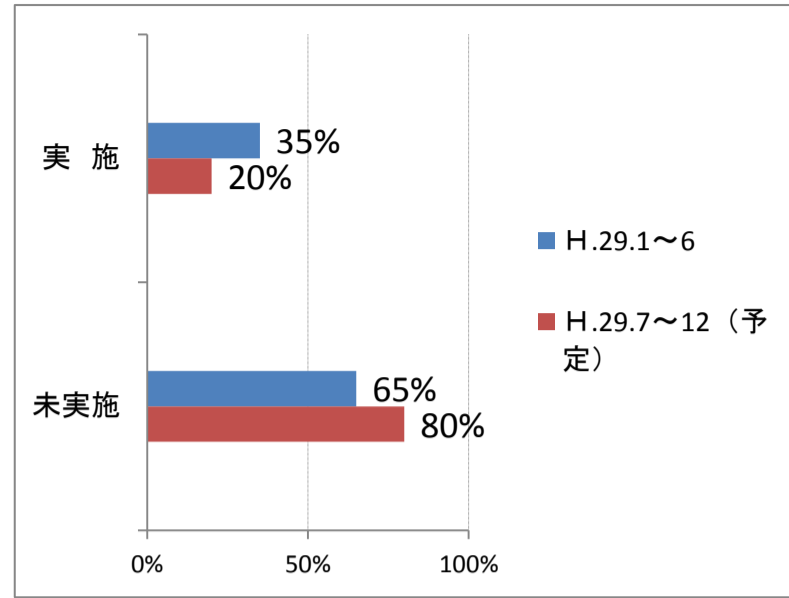
増加とやや増加が20%、減少とやや減少が20%という結果であった。60%の事業所が横ばいと回答している。

【資金繰り】



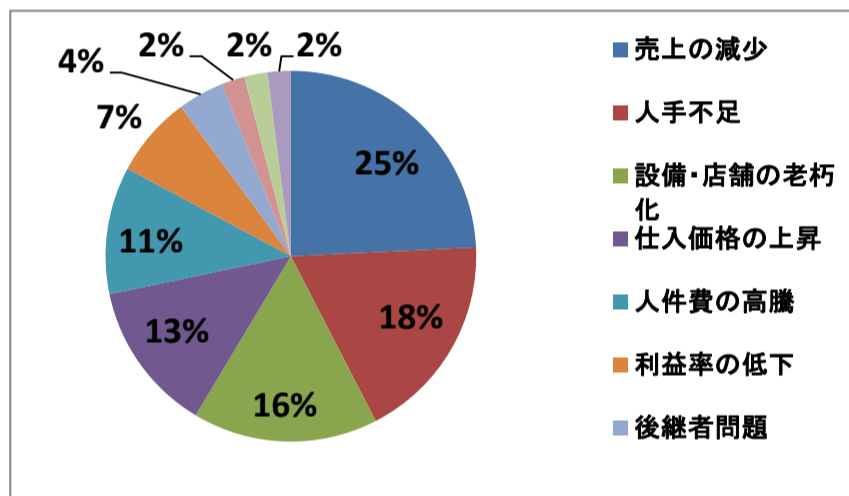
好転とやや好転が35%、悪化とやや悪化が30%という結果であった。35%の事業所が変わらないと回答している。

【設備投資】



35%の事業所で設備投資を行っている。今後は事業所の20%が設備投資を予定している。

《 経営課題 》



売上の減少	人手不足	設備・店舗の老朽化	仕入価格の上昇
25%	18%	16%	13%
人件費の高騰	利益率の低下	後継者問題	諸経費の増加
11%	7%	4%	2%
IT化の遅れ	資金繰りの悪化		
2%	2%		

経営課題で一番多く挙げられたのが『売上の減少』で25%、次に『人手不足』18%、『設備・店舗の老朽化』16%という結果であった。